

アユの遡上環境改善の取り組み

すいこうもん

～ 江戸川水閘門で行うR7年春の取り組み ～

江戸川水閘門とは

- 昭和18年（戦時中）に完成した施設です。
- 水門と閘門を合わせて江戸川水閘門と呼びます。
- 目的は、「塩水が江戸川に入ることの防止」と「江戸川の水位調整」の2つです。
- 閘門は、2門の水門で閘門内の水位を調整することにより、船が海と江戸川を行き来できる施設です。
- 安定した水を供給するため、毎日24時間体制で監視と操作をしています。

江戸川水閘門がないと、
浄水場に塩水が入って
水道水が飲めなくなります。



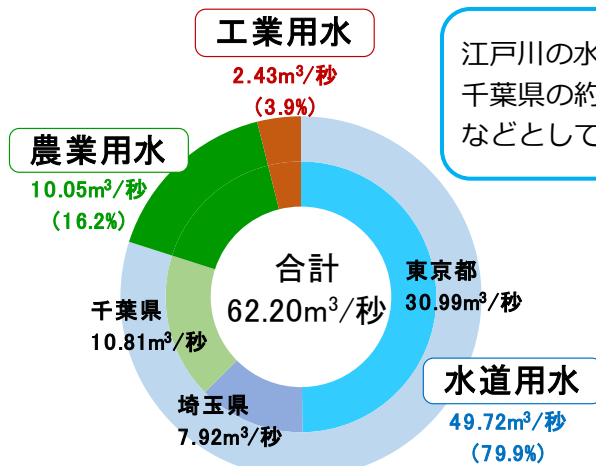
【江戸川の水(水道水)を飲んでいる範囲】



【江戸川水閘門】



【江戸川の水の使われ方】



江戸川の水は、東京都、埼玉県、
千葉県の約1,000万人の飲み水
などとして利用されています。

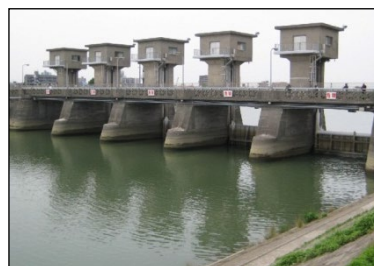
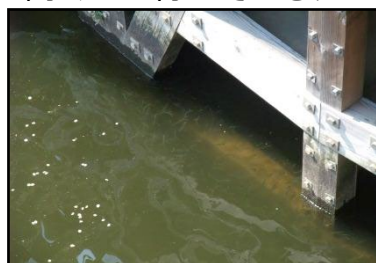
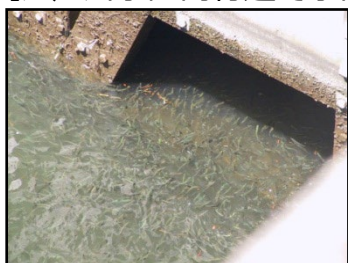


※数値については小数点第2位未満を四捨五入
(令和6年3月末現在の水利権等)

江戸川水閘門とアユについて

- 毎年春にアユの稚魚が海から江戸川に上がってきます。
- でも、江戸川水閘門には魚の通り道（魚道）がないため、アユが江戸川水閘門から上流に上りにくくなっています。

【江戸川水閘門付近で水門が開くのを待っているアユ】

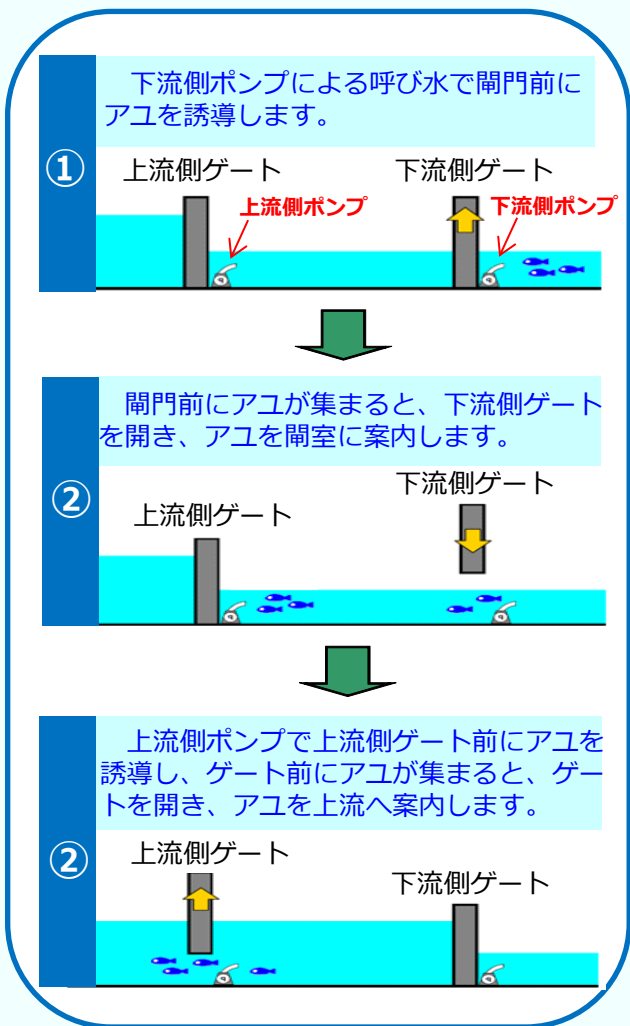


あれ～水門と閘門が
閉まってる。
上に上れないや・・・

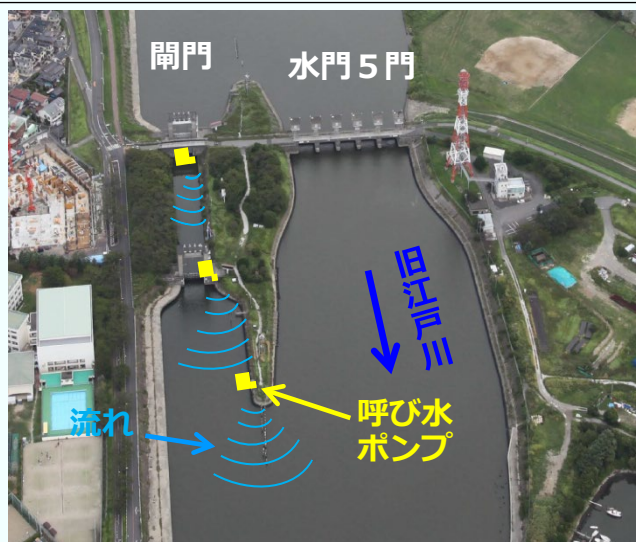
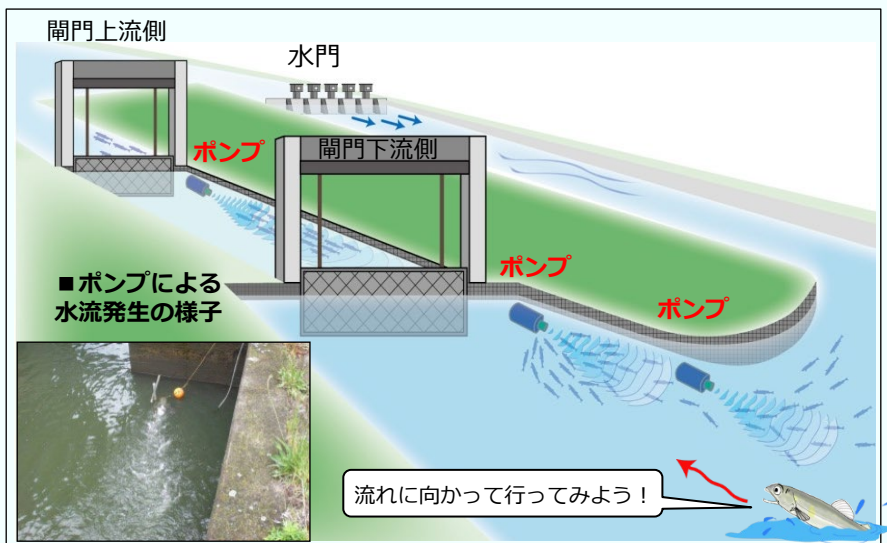
江戸川水閘門での取り組み(アユの遡上対策)

- 船が通るときだけに開けていた閘門を定期的に関けることにより、アユが閘門を通過して上流に上りやすくしています。(閘門特別操作)
- また、ポンプを使って閘門下流に水を流すことにより、アユを閘門下流に誘導します。これは、「呼び水」と言って、アユが流れに向かって泳ぐ習性を利用したものです。(呼び水ポンプ)
- 閘門下流に集まったアユは、扉が開いた閘門から上流に移動することが出来ます。

■ 閘門特別操作イメージ



■ 呼び水ポンプイメージ

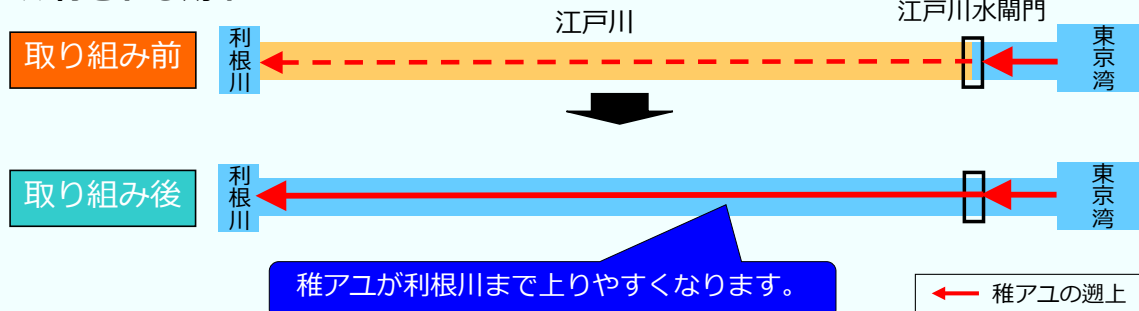


■ 取り組み期間 (予定)

対策期間	3月12日～5月31日 ※アユが海から江戸川に上がる間
対策時間	閘門特別操作 : 毎日 1日9回(8時台～16時台) 呼び水ポンプ : 毎日 7時～17時 (閘門特別操作終了まで)

※施設及び川の状況によっては、中止する場合があります。

■ 期待される効果



水門が全部開いている時にしか上れなかったけど、閘門が定期的に関くことで上りやすくなったね!

国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所

〒278-0005 千葉県野田市宮崎134 TEL. 04(7125)7311 (代表)

「洪水時の川の水位は」

川の防災情報

で 検索